



🌸 花ひろばの環境整備

公園の花づくり・バス通りの花ダル・草刈隊 🌸

◎ 公園花づくり運動

5月28日(土)、一区の8ヶ所の公園に日頃から公園花壇のお世話をされている皆さんが夏用の花を植えられました。この花は一区の皆さんが寄付された「環境・健康募金」から公園用の花として650ポットが無料還元されたものです。



事前の花壇づくりにもご協力下さり当日の花植えができました。水やり、施肥、除草など、これからも地味な作業が続きますがお世話担当の皆さん、よろしくお願ひします。興味ある方、気持ち良い美しい公園づくりに参加してみませんか。

◎ 花樽 夏花の植え替え

6月5日(日)、バス通りの花樽の植え替えを行いました。

花ひろばの皆さんを中心に役員、元役員、一部子ども会のみなさんの応援を頂きながら夏用のポーチュラカ、サルビアの花を植



え、バス通りに設置しました。今は炎天下に強い花が綺麗に咲いてくれています。

バス通りも年々交通量が増え水やり作業が通行の迷惑にならないように対応策を考えねばと思っています。

昨年から沿道の皆さんのご協力を頂き街路樹の花壇づくりを徐々に進めたいと取り組んでいます。街路樹花壇の地植えを増やし美化活動のお手伝いを続けたいと思っています。

◎ 公園草刈活動 草刈隊有志

学校の夏休み前になると公園の雑草の茂りが目に付くようになります。

今年も7月15日(金)から一区の公園の草刈活動をボランティアの皆さんで始めました。

熱中症対策のため朝の8時から活動開始しました。公園近くの皆さんには機械の騒音でご迷惑をお掛けしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。



これからも公園、バス通り、ハートバス通りも含め「住みよい街づくり」へお手伝いして参りたいと思っています。

令和4年度 「ねぷた制作」

市民センター前でねぷた絵の貼り付け

大野第一区、毎年夏の恒例行事「ねぷた制作」(子ども会、防犯青少年育成部会)に今回 30 作品の絵の応募がありました。テーマは「ディズニー」でしたが、どれも子どもたちの思いのこもった力作でした。その中から 8 人の審査員が一人 5 票を持ち、迷いに迷って上位 15 作品を入選作品として選びました。



応募作品の選考会

その後、制作指導の青柳康夫さんが入選作品を使ってディズニーのシンデレラ城を背景にした絵と、荒波にもまれながら力強く舟を進むカープナインの絵を描いてくださいました。

これらの絵の下描きから色塗りまでを大野東市民センターや柿の浦集会所ホールで 7 月 14 日(木)から同 18 日(月祝)まで行いました。

参加した子どもたちは皆夢中で大きな模造紙に向かい、参加したお父さんやお母さんも少し手伝うと楽しくなり夢中になっている様子でした。色塗りにはかつてのねぷた絵の卒業生も参加していただき、制作はスムーズに進みました。17 日(日)には中国新聞の取材も受け、7 月 23 日(土)の朝刊に大



プロジェクターで投影し台紙に下書き

きく記事にさせていただきました。同じ 7 月 23 日(土)に一区役員で絵の山車への貼り付け作業を行いました。子どもたちの力作を破らないように、しかしたわみが出ないように慎重に貼り付けていきました。2 時間くらいの作業ののち、立派なね



色塗りに大勢の子どもたち

ぷた山車が今年も完成しました。大野第一区ではねぷた制作にたくさんの子ども会会員の子どもたちに参加してほしいと考えています。子どもたちみんなでの絵を完成させるので、子どもたちの協調性や思いやりの心が養われ、何より大きな達成感が得られ、多くの学びの機会があります。絵が入選しなくても下描きや色塗りに参加することができます。絵の募集は子ども会を通じて毎年 6 月頃に行います。来年もたくさんのお応募をお待ちしています!



卒業生たちも参加して色塗り



「ねぷた」お披露目会

青柳氏のねぷた説明

7月30日(土)台風5号の影響で朝から小雨が降ったり止んだり、順延も有りうる状況下で準備が整うと、何故か良い感じの曇り空に。ボンボりにしても「ねぷた」にしても、電球の明かりで雰囲気が出るもの



感謝状の贈呈

なので、開会を日没の時間 7:15 に合わせ・区長挨拶・宮島ニュータウン管理組合からの寄付に対する感謝状贈呈・子ども会のね



入選者表彰

ぷた原画応募入選者表彰・ねぷた点灯に続き・ねぷた制作者青柳氏による令和4年度新作ねぷたの図柄の説明・子どもたち主体

紅白の紐で引張ります



のねぷた引き回しでプログラムは終了しました。その時、気まぐれにも雨が降り始め風も少し出てきて、慌てて終了宣言、急ぎ片付けし解散しました。この日は、来場者の検温確認を兼ねて光るブレスレッドをプレゼントし手首に取り付け、来場した子どもたちにはおやつ券、花ひろばからは花の苗の無料提供と粋な計らいです。この度のようなねぷたのお披露目会と言うのは3回目です。1回目は9年前、雨で夏祭りは中止かと思われましたが柿の浦の集会所の中で出来ることをしようと無理やり実施。ですが、ねぷたは披露できず、日を改めてねぷただけのお披露目会をしました。2回目は昨年、コロナ禍で夏祭り中止、今回と同じ条件ですが日を改めた時期が秋深しで、夜は少し寒く関係者のみが参加された状況でしたが、今回3回目は、夏休み期間でもあり夕涼み気分でもあるので、100名近い来場者で賑わいました。

次の日の片付けには、有志10数名の参加を得て支柱やタイヤウエイトの重量物、昨夜の雨でシート掛けが不十分だったねぷたの養生しなおし、提灯の清掃仕舞、電線の仕舞、ホールの清掃とモップ掛けで終了しました。久し振りに倉庫の中の物を出したので、整理しなおすことで不要物の処理とスペースの確保が出来、倉庫が広く感じれてすっきりしました。来年の夏祭りには、今回倉庫から出していない備品も全て出せるようになれば、いいネ。



来場者の検温



無事引き回し終了

3年ぶり！ 合同ふれあいサロン



「気功」の実技指導

6月15日(水)、高齢者対象の合同ふれあいサロンを行いました。新型コロナの影響で3年ぶりの開催です。例年の様な会食もなく、また2時間という短さでしたが、スタッフを含め100人もの参加者が集いました。最初に廿日市警察署の竹本浩之様から「ひっかかるな！ 特殊詐欺」と題して、最近の巧妙な詐欺の手口や引っ掛からない為

特殊詐欺の紹介



のポイントなどを分かり易く紹介して頂きました。次は「気功」について太極拳の講師 大石 和博様が「八段錦」を「イナバウアー」や「刑務所内監視」など面白い表現で実技指導。狭いスペースながらも参加者の皆さんも一緒に体を動かしました。皆さんからは「ゆっくりした音楽に合わせて体を動かすのは気持ち良かった。」との声が多数ありました。

最後は、「みんなで歌おう！」と「お口の体操」です。合唱・ピアノ講師 山崎 香様からユーモアを交えた楽しいご指導いただきました。唱歌「ふるさと」を全員で歌って和やかに終わりました。

10月13日(木)予定の「長寿祭」には皆様の多数の参加を期待しています。



皆さんで「お口の体操」

子どもサバイバル教室



竹を回しながら焼いていきます

7月24日(日)午後1時30分より柿の浦集会所、柿ノ浦4号公園にて子どもサバイバル教室を開催しました。今回のテーマは「バームクーヘンを作ろう」でした。

講師に田中雄司先生と納城なつみ先生、株式会社やまだ屋様の山田副社長、17人の小学生とそのご家族総勢27人の参加者と、一区役員3名、補助として更生保護女性会のお姉さま3名にお越しいただきました。今回も株式会社やまだ屋様よりバームクーヘンの生地を提供をいただきました。誠にありがとうございました。

参加者は4つの班に分かれ、それぞれ竹筒にアルミホイルを巻き、生地を塗って炭火コンロの上で竹筒をくるくる回しながら焼いていき、これを何度も繰り返しました。どの班もきれいに焼きあがりました。

しっかり年輪もつき「おーっ！」と声をあげます。「おいしい！」との声があちこちから聞こえました。形はどうあれ、辛抱強く焼いて自分たちで作ったお菓子はやはりおいしいです。

やまだ屋様からは子ども達にもみじ饅頭と桐葉菓のセットのお土産もあり、子ども達は大喜びのうちに教室は終了しました。



生地を掛けながら焼いていきます